

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式										
E1121019		指揮法実習 (Conducting )																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 森口 真司  E-mail 内線													
授業の概要	<p>多人数による合奏・合唱を指揮するための基礎的な技術の解説から始め、さらに進んだ表現方法や合奏・合唱の指導方法などについても研究する。あわせて映像資料も参考にしながら指揮者というものに対する総合的理解を深める。</p>																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 正確なテンポ感とそれを表現する打法の習得																			
目標2 指揮の正確な図形の習得																			
目標3 様々な表現(クレッシェンド、リタルダンド、フェルマータ等)方法の習得																			
目標4 効果的な練習方法の理解																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1 ガイダンス・指揮とは何か?																			
2 基本1 指揮の原理・加速減速																			
3 基本2 直線的な動き																			
4 基本3 曲線的な動き																			
5 基本4 第4回までのまとめ																			
6 応用1 強弱の変化																			
7 応用2 フェルマータ																			
8 応用3 テンポ・拍子の変化																			
9 応用4 その他の表情																			
10 応用5 6拍子・3拍子の1つ振り																			
11 実践1 合唱を実際に指揮してみる1																			
12 実践2 合唱を実際に指揮してみる2																			
13 実践3 試験曲の解説1																			
14 実践4 試験曲の解説2																			
15 実践5 試験曲の解説3																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	11・12回目の授業時、実際に合唱(合奏)を指揮・指導し、学生相互間で問題点を発見・指摘し、論ずる。					工夫	その他の											
ラーニング	B:意見の表現・交換																		
ラーニング	C:応用志向																		
ラーニング	D:知識の活用・創造																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備	次回課題曲の読譜。可能なら実際にピアノで弾いてみる。																	
	事後	週2~3回15分程度、課題の通り実際に身体を動かす。																	
教科書	授業時に配布																		
参考書	斎藤秀雄「指揮法教程」音楽之友社 高階正光「指揮法入門」音楽之友社 山田一雄「指揮の技法」音楽之友社																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	定期試験	80%																	
	アクティブラーニングにおける取り組み姿勢・成果	20%																	
注意事項																			
備考																			
リンク																			
	URL																		